

7月31日(水)から8月3日(土)までの3泊4日、日野町と姉妹都市提携を結んでいる韓国の恩山面(うんざんめん)に7名の日野中学生使節団が訪問しました。

恩山面と日野町の中学生が交流することを目的とした日野中学生使節団は今回で8回目の訪問となりました。交流を通して両国の中学生が言葉の壁を越えた心の交流を楽しみました。

1日目

日野町を出発し約6時間、韓国に到着しました。訪問の間お世話になる恩山中学校の朴相淑先生と出会い、恩山面へ向かいました。恩山面事務所へ到着すると面長室で面長、副面長さん達とお話しし、恩山面のことなどについて教えていただきました。恩山面は、田園風景が広がる日野町と良く似たところで、皆さん温かく迎え入れてくださいました。

また日野町と恩山面が交流するきっかけとなった恩山別神堂にも訪れました。

2日目

恩山中学校で中学生同士の交流会が行われました。恩山面からダンスやオーケストラ、サムルノリ(伝統音楽)の発表があり、日野

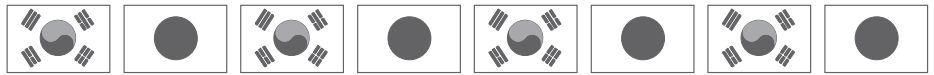


▲サムルノリの演奏を教えてもらいました

の使節団も日本の昔遊びを披露しました。また、恩山面の皆さんにサムルノリの演奏を教えてもらい、初めて見る楽器に挑戦しました。

交流会のあとは、恩山中学生と一緒に恩山面を見学し、夜には中学生の家庭でホームステイをしました。韓国の皆さんによる心のもったおもてなしで、楽しいひとときを過ごしました。

姉妹都市交流



日野中学生が韓国で友情を深める



—サムルノリも体験—

3日目・4日目

恩山中学校にお礼と別れのあいさつをし、ソウルを経由して帰路につきました。使節団同士も仲良くなり、ホームステイの思い出や韓国と日本の文化の違いなどについて楽しく話し合っているとあっという間に日野へ到着しました。迎えに来られた家族が見守る中、帰着式を行い、解散しました。

使節団メンバー(敬称略)

- ◆ 団長 植田寿穂(日野中教頭)
- ◆ 団員 柚木沙歩、岡志穂美、平井琴乃、南川朋輝
- ◆ 随員 馬場平三郎(通訳) 辻田喜世美(町職員)

中学生使節団の感想から(敬称略)

最初は、お互い緊張したりして少し距離がありました。話しかけられたり話しかけたりしていくうちにすぐに打ち解けました。「友だちになりたい」と言ってくれて英語や少しの韓国語で会話をしました。最も不安だったホームステイも、韓国のオモニ(母)の優しさを感じました。「また遊びに来てください」と言ってくれたので、受験が終わったら絶対行く決めましたし、日野に来

てくれる時は是非招待したいなあと思いました。 柚木沙歩(3年)

4日間という短い間だったが、色々なことができてよかったです。使節団に応募してよかったです。 平井琴乃(2年)

言葉は通じなかったけれど、皆が寄って話し掛けてくれたので、すぐに友だちになれました。皆とは少しの英語と日本語で会話をしました。でもほとんどがジェスチャーで分かり合えたと思います。恩山面でたくさん友だちを作れたことがよい思い出です。 南川朋輝(2年)

4日間という長いようで短い期間の中で、喜怒哀楽



▲皆さんあたたかく迎えてくださいました(恩山面事務所)

◆問い合わせ先 国際親善協会事務局 (企画振興課 秘書広報担当) ☎6550